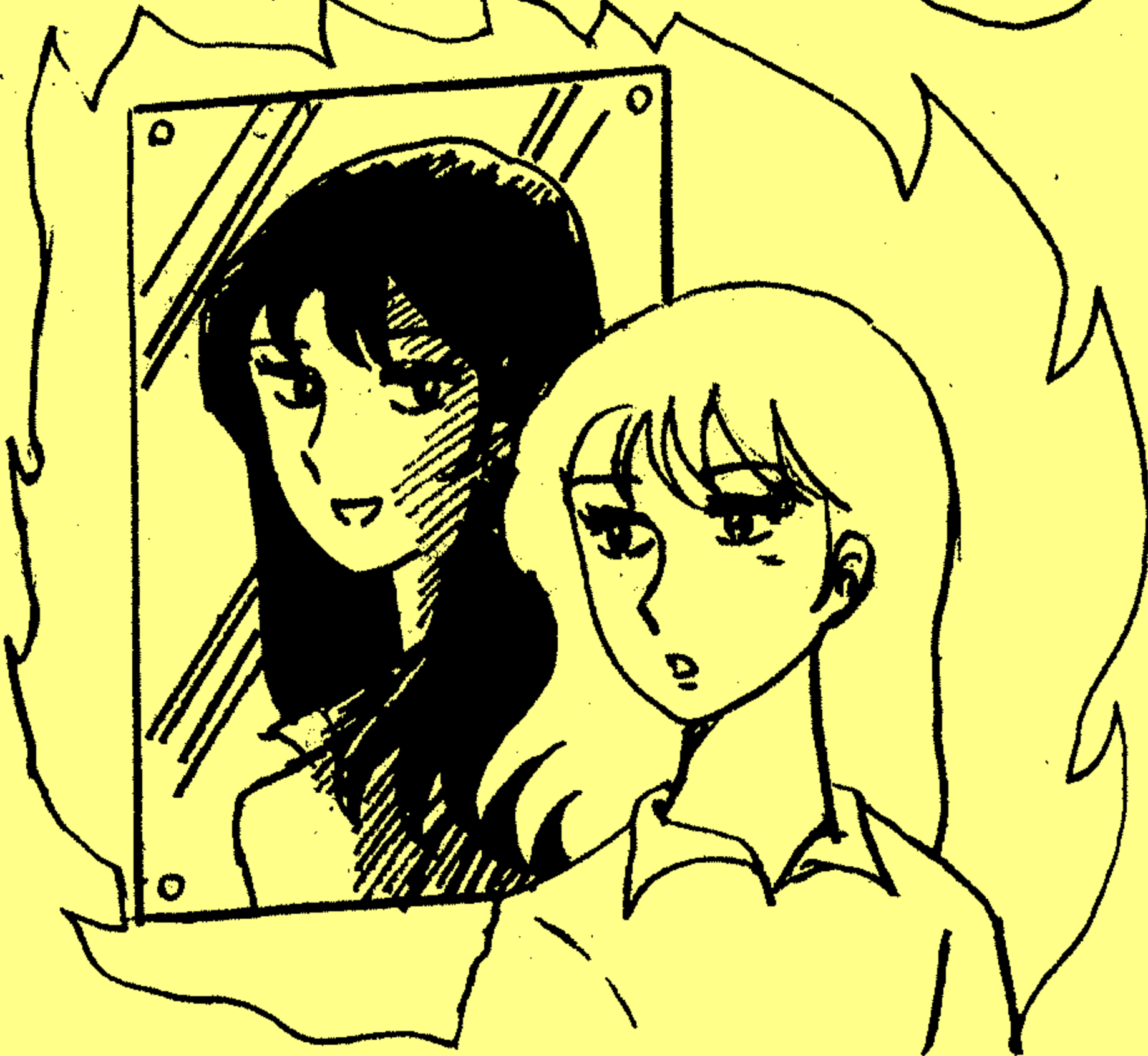


劇団からっかぜ

第17期研究生卒業公演

幽霊裏話

芥地隆介
作



◆ もう1人の

叶たしが.....◆

3月14日(土)

P.M.6:30~

3月15日(日)

P.M.1:30~

【鬼馬公民館】

第14期 研究生 卒業公演

幽霊褒話

芳地隆介・作

〈キャスト〉

桜英子・風見由美

彼女の恋人・橋場徹
大助

彼女の胴体・植村絃子

彼女の友人・久保田敦子

彼女の上司・瀬川郷

アパートの・秋山幸夫

大家

職員・長川雅子

ナレーション・紫かおり

〈スタッフ〉

演出・平井新

舞台監督・植村絃子

普及・風見由美

効果・久保田敦子

美術・橋場徹

秋山幸夫

照明・長川雅子

〈あらすじ〉

—ある日、めざまたら
もう一人の私がい—

今日も明日も、同じことのくり返し。朝がきても出勤したくはない。けれど一応会社に電話をしなけいば……。桜英子は電話をかけた。

しかし、彼女は出勤しているという返事かえってきたのだ。一体、何が起ったというのだ。

—始まりは、日常生活の中に突然やってきた「異変」だった。

◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆
やがて、彼女の「胴体」との協同生活が始まるのだが、そこからさまざまな問題が起くるのだ。

◇ ◆ ◇ ◆ ◇ ◆
彼女は選択を迫られた。今のままの生活を続けるか、胴体と一身同体に戻るか。しかし、その時、すでに—

おれこい

瀬川郷

◆こんばんにちは！今回私は上司というおせっかいでさゆがしくクールなオールドミスと演じます。「地をいけば？」という外野の声は聞かれますが……
【恋幕集中!】

風見由美

◆入団してから二つめの劇。今回は代役じゃなく、自分なりに役づくりが出来るし、そして何より十代ラストの芝居、一歩前進めざしてがんばります！

横村紘子

◆好きな本など読んでる時間がないこの頃だけど、この芝居が終れば時間だけはたっぷりあるんじゃないかな。でもとにかく今はこの芝居成功させるためにがんばるのみ!!

久保田敦子 ◆今まで観客側として演劇というものを

知りませんでした。今回初めて自分が演ずることにより、表現することの難しさを知りました。舞台装置もついたり、何もかもが初めての経験。ぶはありますが、がんばりたいと思います。

橋場徹

◆芝居をあまりやった事のない人間が集まったの芝居ですが、やっとここまでできました。観て満足していただける女心配ですが、とにかく若さと情熱をやります。

秋山幸夫

◆年は25才、身長は低く、体重も、体型ドラムカン。12月に入ったばかり。仕事と練習で寝るひまがないほどがんばってやっているけど、なかなか上手にいかない。男二人で恥ずかしいけど何とか根性をやってきました。

紫なおり

◆劇団に入ってからまだ一ヶ月ちょっと、ナレーション役をいただいたとき、まだはやほやのりだけでしたが、其名を紫なおりに決めました。よろしく演劇なんでもまろっきしやうたことのない私です。入ったばかりで、どうやっていいの女全くわからないけど、がんばります。

長川雅子

◆演劇なんでもまろっきしやうたことのない私です。入ったばかりで、どうやっていいの女全くわからないけど、がんばります。

17期生担当

& 演出の声 【平井新】

色々な理由で、研究生たちが集まってくる。

演劇の経験のあるもの、ないもの。そして彼ら(彼女ら)は約6ヶ月の間、ぶつかり合ったり、笑ったり、すねたり、怒ったり、日常生活にない、精神的に赤裸々な状態の研究生活動を送ることにやる。

今回の十七期研究生もそうであった。精神的に裸になれず、もたえ、悩み、苦しんだ。

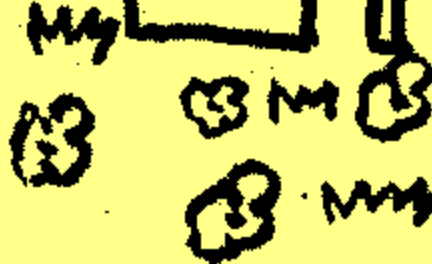
その研究生たちが全く自由に、この台本を選んだ。研究生担当としては、もっとやさしい台本を選んでもらいたかったのだが、しかし、数ある台本の中から、この本を選んだのは、

彼ら(彼女ら)自身が今感じていること、今若い青春の一部を(人生の一部を)かけこ表わしたいものがこの台本にあると考えたからにちがいない。彼ら(彼女ら)がその幼い演技の中を表現したかったものをあなたがたい心で、くみ取ってもらえれば幸いです。

3月15日(日)公演終了後、

「交流会」を開催しますのでぜひ参加してください!!

ヨロシクネ!



第18期研究生募集!!

週2~3回

PM7:00~PM9:00

- 座学
- 発声・肉體訓練
- 劇指導 他

浜松市中田町 595-2

TEL 63-6011 まで